

2020年12月25日  
株式会社大倉

## ローカル5G用無線局の予備免許を取得

### 2021年内に自社開発ニュータウンへ日本初の住宅用サービスを展開

株式会社大倉（以下、大倉）はこの度、自社ニュータウン開発地（三田ガーデンタウン）において、ローカル5G用無線局の予備免許を取得したことをお知らせいたします。

この度の予備免許を受け、2021年内に日本初となるローカル5Gによる住宅用サービスの展開を目指します。また大倉は今後サービスを確立し、地方都市のスマートシティ化を進め、地方創生の目標達成に向け注力します。

#### ・スマートシティとは

ITや環境技術などの先端技術を駆使して街全体の電力の有効利用を図ることで、省資源化を徹底した環境配慮型都市。生活に欠かせないエネルギーの消費を抑えつつ、その他のインフラをIT技術によってつなぎ、環境にも配慮した効率的なエネルギー消費を進める都市形成のことを指します。

#### ・5Gとは

特徴として「超高速・大容量」、「多数同時接続」、「超低遅延（高画質を維持したまま従来よりも試聴遅延を抑えられる）」といったものが挙げられます。通信速度は最大で20Gbps、同時接続数は100万台/km<sup>2</sup>（4Gと比べると10倍以上）、遅延速度に関しては片道1ms（1/1,000秒）以下（4Gの10分の1以下）に抑えられているといわれています。この数字だけみても従来と比べてはるかに優れた通信システムだということがわかります。

#### ・ローカル5Gとは

局所的に5G技術によるプライベートなネットワークを構築して利用できる、「自営による5G」になります。通常、5Gといえば通信事業者（NTTドコモやKDDI等）が提供するネットワークのことを指しますが、ローカル5Gはこれとは別に構築する無線通信のシステムです。ローカル5Gを活用したい企業（今回は大倉）は、独自に5G基地局の通信システムを構築して、限られた範囲内（三田ガーデンタウン）で使用します。